

## 1号議案

## 2024 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 風雷社中

## 1 事業の成果

- ・移動支援・居宅介護事業を中心に、地域の障害者福祉サービスの維持・展開に貢献をした。
- ・ガイドヘルパー養成研修を2回実施し、17名の修了者を輩出した。
- ・新規利用者8名の契約、新規ヘルパー7名の採用を行った。
- ・移動支援従業者を対象とした待遇改善を実施した。
- ・新規の自立生活支援について検討を開始した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 8211 千円】)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害を持つ人への支援事業	①支援事業 風:fuu	2024年4月1日～2025年3月31日	大田区及びその周辺地域	47(実員)	1000名(年間利用者のべ数)	85(実員)	7335
ニート・フリーター・ダブルワーク支援事業	①ニート・フリーター・ダブルワーク支援事業 ②その他	2024年4月1日～2025年3月31日	大田区及びその周辺地域	1	ニート・フリーター・シルバー	-	-
地域ネットワーク化事業	①連携団体(活動) ②協力団体(活動) ③加盟組織 ④その他	2024年4月1日～2025年3月31日	大田区及びその周辺地域	1	不特定多数の地域一般の方々	-	136
障害福祉啓発事業	「支援の一般化」を進めていくために、他団体との連携・協力を中心に地域での障害福祉活動・NPO活動等との地域ネットワーク化を支援していく	2024年4月1日～2025年3月31日	大田区及びその周辺地域	1	不特定多数の地域一般の方々	-	136
介護人材の育成に関する事業	ガイドヘルパー養成研修の実施	2024年4月1日～2025年3月31日	大田区及びその周辺地域	3	不特定多数の地域一般の方々	17	604
その他目的達成のために必要な事業	三浦半島での福祉事業の展開	2024年4月1日～2025年3月31日	三浦市及びその周辺地域	1	不特定多数の地域一般の方々	0	-

## (2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載	事業内容	日時	場所	従事者	事業費
-------	------	----	----	-----	-----

された 事業名				人数	(千円)

## 1号議案資料

# 特定非営利活動法人風雷社中 2024年度 事業 報 告 書 資 料

2024年4月1日 から 2025年3月31日まで

## 1 実施事業の報告等

- ・昨年度同様、処遇改善加算・特定事業所加算を取得し、居宅介護従業者の賃金改善を行うとともに、增收を図った。
- ・移動支援のみの従業者に対しても、夏季・冬季にそれぞれ稼働実績に応じた手当を支給し、待遇改善を実施した。
- ・法人主催のガイドヘルパー養成研修を2回実施して理解啓発・新規採用に尽力した。
- ・昨年に引き続き、就業中ヘルパーの個別面談や法人内研修を積極的に行い、知識を深めると共に、雇用の安定を図った。
- ・広報としてのyoutubeチャンネルや「知的障害のある人の自立生活について考える会」も継続している。

### (1) 障害を持つ人への支援事業

○当事者が必要とするサービスの提供が社会を変えていく  
「支援の一般化」を基本として事業展開を進めていく。

#### ① 支援事業 風:fuu

- 増収のため利用者・支援者ともに拡充を図る(コロナ以前の月収に戻す)
  - コロナ以前の月収に戻す、という目標は達成。2025年度の初旬には債務超過も解消する見通し
  - 利用者数
    - 3月31日現在 88名
    - 新規相談依頼43名、うち8件名、支援終了1名
      - 重度訪問介護・居宅介護は増収
      - 移動支援は減収 ※今後も減収の見込み
        - GHへの入居や、家庭状況の変化による希望減
        - 新規依頼は短時間が多い
    - 支援者数
      - 期首49名 期末48名
      - 年度内5名を新規に採用
- 利用者・支援者の管理体制の強化
  - 事務兼務の非常勤職員を1名採用し、管理システムの移行や、事務補助の増強を行つた。
  - 支援者に対して継続した定期面談を行い、様子の聞き取りやコミュニケーションの強化には役立っている。
  - 支援者の面談は強化されたが、利用者の面談が都度対応となってしまった
- 支援者の福祉サービスに関する知識や対人支援としての意識を向上する
  - 法定研修に加えて、毎月、全体研修を実施。参加人数にはばらつきがあるが、毎回研修の内容を全体にフィードバックしている。
  - 現場がキャンセルになった際の、on-line研修としても活用している。
- 地域のシニア支援者の雇用を引き続き継続する
  - ガイドヘルパー研修や法人フォロワー、口コミでのエントリーがあった
- 新規自立支援生活のあり方について検討する
  - 既存利用者(移動支援は継続、実家に住んでいた際は居宅介護も利用)のGH退去に伴う自立生活支援への移行の相談をうける。

- 支援体制の整備等を含めて検討し、2025年度4月から、サービス提供を開始。
- サ責への介護福祉士受験の補助を行う。
  - サ責以外にも法人役員、常勤ヘルパーに対しても補助を行う。
  - 4名受験し、4名合格。
- 移動支従業者に夏季手当・冬季手当の支給を開始
  - 稼働実績に応じて、支給を開始した。
- その他
  - 既存利用者が65歳に達した時の対応として、共生型サービスの指定取得に向けた検討を開始

#### ◆支援事業に関する課題

- 平日
  - 常勤男性ケースで欠勤時の代わり(バックアップ)が少ない、いないケースが多い
  - 困難ケース、トラブルを起こしたケース等、常勤が対応せざるおえないケースがあり、他のヘルパーへの移行が難しい
- 土日
  - 余暇活動の依頼自体が少ないが、導入で入る職員(庭野・定岡)の支援予定が埋まってしまっていて新規ケースを契約できない状況である。常勤での出勤者も土日で1.2名のみ
  - 平日と同様でバックアップ不在でヘルパー欠員時は支援実施中止となってしまう
- 総合
  - フルタイムで働く設計でのヘルパーの敷居が高い。希望があつてもある程度全ての現場を対応できなければならない。非常に高い対応スキルや時間帯問わず働くことができ、夜勤は必須、体力も精神力もあるヘルパーが求められる
  - 1事業所にしては利用者・ヘルパーともに規模がかなり膨大である。事業所を分ける規模にきているが、総合的に動ける管理者をどう設置するか課題

#### ◆\_事故報告

・移動支援サービスでの見失い事故の発生：

2月9日の16時頃蒲田駅にて見失いが発生。警察へも通報し、約9時間後に、川崎にて発見された。

→担当ヘルパーは話し合いの結果自主退職

→全体研修等での事故防止策を実施、GPSやスマートタグの導入に向けた取り組みを開始

#### ② 相談をめぐる冒険

- 事業所の再開については、目途が立っていない。

#### ③ その他

- ・大田区移動支援ネットワーク運営委員会への参加(庭野)
- ・外部研修への参加 自立支援連絡会、大田区等 (庭野・大小原)
- ・大田区緊急一時保護事業への協力(特定利用者の利用についてのコーディネートと人的協力)
- ・車両による移動ニーズへの無償での対応の継続

## (2)ニート・フリーター・ダブルワーク支援事業

### ①ニート・フリーター・ダブルワーク支援事業

- 対象の拡大の検討と試行 昨年と同様に「若者」に限定をせず、シニアや外国にルーツを持つ人たちを対象に加えていく
- 全産業で人手不足が進行している中で、法人への求人応募についても「フリーター・ニート」といった属性でのエントリーはなし
- シニア層の応募が多く、積極的に採用を行った
- 雇用中の外国人ヘルパーは帰国し退職。

## (3)地域ネットワーク化支援事業(他団体との連携)

### 地域での障害福祉活動・NPO活動等との地域ネットワークとの連携と協働

#### ①連携団体(活動) 中村

- 知的障害のある人の自立生活について考える会への参画
  - 運営委員会への参加
    - 毎月定例(第四木曜)会に参加
    - 運営委員会の代表
  - シンポジウムとONLINEサロン等を実施
    - 偶数月の第二木曜に開催(5回)
  - 関東以北の調査活動
    - 茨城県、福島県の実践紹介
  - 全国ネットワークの為のプラットフォーム作り
    - Facebookグループにて交流を実施
- インターネットラジオOpenSession 進展なし
  - 過去ログの整理と再公開
- 「ガイドヘルパーから始めよう」 進展なし
  - HPやSNSの再構築
    - 現在のHPやYouTube、SNSはアーカイブとして残しながら、コンテンツを風雷社中のHP等に移植していく

#### ③協力団体(活動)

- 大森コラボレーション
  - 中村が法人理事として参画。

#### ④加盟組織

- 大田区自立支援連絡会
- おおた市民活動推進機構
- 大田障害者連絡会

#### ⑤地域で協力関係にある機関

- 大田ネットワーク
  - 大田ネットワーク発行の「おおたSDGsタイムズ」企画運営に中村が参画を継続
- マリーンズ三浦
  - 事務局として中村が参画
- 大田区、目黒区、横浜市、江戸川区

- 移動支援協定自治体として、各地域の活動と連携

#### (4)障害福祉啓発事業 ※風雷単独事業

##### ①障害福祉啓発事業

- WEBコンテンツの開発 進展なし
  - YouTube、TikTokなど動画コンテンツ制作
  - HPにテキストコンテンツを掲載

##### ②重度知的障害者の自立生活支援についての報告活動 進展なし

- セミナーの実施
- 報告集の作成と書籍化の検討
- 知的障害のある人の自立生活を考える会と連携

##### ③障害の社会モデル普及のための研修実施 進展なし

- 知的障害のある人とコミュニティの在り方を見直すための研修デザインの開発
- 障害者差別解消ツールキットの研究(新規)
  - 組織(地域)内での障害者差別解消のためのフローや学習・研修コンテンツをまとめたもの

##### ④HP運営

- Googleアドグランツ運用
- コングラント運用
- ECサイトの研究と導入準備 検討中
  - WordPress内に実装可能かを検討して、難しければBASE等に構築する

##### ⑤ソーシャルメディア・SNSの運用

- HPにてブログ運用
- You Tube定期配信とコンテンツ強化
  - ユーチューブチャンネルでの定期配信(毎週水)

##### ⑥その他

- 差別を許さない社会づくり、および人権擁護のネットワークと障害福祉領域の連携 取り組みなし
  - 障害者差別以外の差別解消への取り組みとの連携と協力

※担当スタッフ 中村

#### (5)介護人材の育成に関する事業

##### ①ガイドヘルパー養成研修の実施

- 11月・1月と2回の研修を実施
- 17名の修了生が誕生

##### ②研修実施資金の調達について

- クラウドファンディング 20万3000円
- 目的寄付 16万5000円

※担当スタッフ

定岡(全体統括)

大川・福井(都申請、会場手配、講師手配、準備当日コーディネート)

大小原(進捗管理、会計庶務)

## 2024年度ガイドヘルパー養成研修実施報告書



### 1. はじめに

ガイドヘルパーがいなくて障害者が外出を諦める現状を変えたい！

ガイドヘルパーへのニーズは年々増える一方、移動支援の事業者の撤退・事業縮小が相次いでいます。

知的障害のある人の外出をアシストするお仕事ができる資格、知的障害者(児)移動支援養成研修(通称:ガイドヘルパー養成研修)を実施しました。

### 2. 研修の正式名称

東京都知的障害者移動支援従業者養成研修

### 3. 研修目的

障害のある人の外出をアシストするガイドヘルパー養成研修を通し、不足しているガイドヘルパーを増やすこと。

それと共に、障害のある人と関わりがなかった人たちに、障害のある人とおかれている環境にある課題(障壁)について学ぶ機会を提供していくこと。

そして、社会全体に障害の社会モデルに基づく「障害」理解と差別解消のための取り組みをひろげていく。

#### 4. 講師(五十音順)

小幡寛

(居宅介護事業所起差点 管理者／「知的障害者の疾病 障害の理解」講師)

櫻原雅人

(居宅介護事業所はちくりうす 管理者／「障害者(児)の心理」「ガイドヘルパーの制度と業務」講師)

定岡ありさ

(ガイドヘルパー／「移動の支援に係る技術」講師)

志子田悦郎

(社会福祉士／「障害者(児)福祉の制度とサービス」講師)

竹嶋聰

(介護福祉士／「知的障害者の疾病 障害の理解」講師)

田島誠一

(大学招聘教授／「ホームヘルパーの職業倫理」講師)

庭野拓人

(居宅介護事業所風雷社中 管理者／「ホームヘルプサービス概論」「移動支援の基礎知識」「移動の支援に係る技術」講師)

平井佑典

(居宅介護事業所トイトイサポート 管理者／「障害者(児)福祉の制度とサービス」講師)

山田悠平

(精神障害当事者会ポルケ代表／「移動の支援に係る技術」ゲストスピーカー)

#### 5. 研修概要

##### 第1回

###### a. 研修期間

2024年10月25日～2024年11月22日(全5日間)

###### b. 研修場所

大田区立消費者センター講座室(東京都大田区蒲田5-13-26-101)

六郷集会室(東京都大田区仲六郷2-44-11)

カムカム蒲田(東京都大田区新蒲田1-18-16)

###### c. 修了者

5人

##### 第2回

###### d. 研修期間

2025年1月25日～2025年2月15日(全4日間)

###### e. 研修場所

徳持会館(東京都大田区池上7-14-6)

###### f. 修了者

12人

## 6. 広報

- ・SNSの投稿
- ・公共施設にチラシを設置
- ・新聞にチラシを折り込み
- ・風雷社中の利用者・家族・ヘルパーのみなさんの有志で知人・友人への宣伝
- ・東京都福祉局HPに掲載

東京都指定 知的障害者移動支援従業者（ガイドヘルパー）養成研修 受講者募集  
障害のある人をサポートする  
**ガイドヘルパーって知っていますか？**

ご存知の方も初めて知った方も、今こそ始めてみましょう！



ガイドヘルパーは電車やバスを使って、障害のある人と一緒に通所施設や学校まで通所・通学をしたり、お休みの日に一緒にお散歩やお出かけをしたりする仕事です。  
全19時間の研修で資格取得可能。障害福祉の入り口となる資格です。

**研修日程**

第1回 (10月コース) 全5日	2024年 10月25日(金)～11月22日(金) 10:00～15:50
第2回 (1月コース) 全4日	2025年 1月25日(土)～2月15日(土) 10:00～17:00

詳細はHPをご覧ください  
NPO法人風雷社中 法人HP：<https://fuu-rai.org/>



障害のある人をサポートする  
**ガイドヘルパーって知っていますか？**

ご存知の方も初めて知った方も、今こそ始めてみましょう！

**ガイドヘルパー養成研修**

この研修の修了者は市区町村が実施する障害者移動支援事業の従業者（ガイドヘルパー）として働くことができるようになります。ガイドヘルパーは電車やバスを使って、一緒に通所施設や学校まで通所・通学をしたり、お休みの日に一緒にお散歩やお出かけをしてたりする仕事です。  
10代からシニア世代まで幅広く、学生、フリーター、主婦、他業種でフルタイムで働いている方、外国にルーツのある方も活躍しています。  
研修を受けて、あなたのスキマ時間をみんなのために活用しませんか？  
全19時間の研修で資格取得可能。障害福祉の入り口となる資格です。



**研修日程**

第1回 (10月コース) 全5日	2024年 10月25日(金) 10:00～15:50	→	11月22日(金)
	～	10:00～15:50	
第2回 (1月コース) 全4日	2025年 1月25日(土) 10:00～17:00	～	2月15日(土)
	～	10:00～17:00	

会場  
第一回 大田区立消費者センター講堂室（大田区蒲田5-13-26-101 2階）  
六郷駅会場（大田区仲六郷2-44-11 六郷地区活力創造センター5階）  
カムカム新蒲田（大田区新蒲田1-18-16）  
第二回 徳持会館（大田区池上7-77丁目）

定員 各回 30名  
応募者多数の場合の決定方法：先着順で受講を決定

研修受講料  
一般(個人)：参加費用 4000円  
(キャスト代含む)  
事業者(移動支援に係る事業所からの申込み)：参加費用 10,000円

対象者  
どなたでも参加できます  
シニア：定年後に社会貢献性の高い仕事を考えている方  
外国ルーツのある方：  
大田区内の多文化共生支援団体にサポートをしてもらいます  
その他：副業をお考えの方、フリーター、学生、子育て中の方など

主催と問い合わせ  
主催 特定非営利活動法人風雷社中  
共催 大田区消費者団体「大田ネットワーク」（第一回養成研修のみ）  
後援 大田区、（福）大田区社会福祉協議会

問い合わせ 特定非営利活動法人風雷社中  
東京都大田区池上7-30-5 ラジオステ池上102  
電話：03(6715)9324 Mail：[guidehelper@fuu-rai.org](mailto:guidehelper@fuu-rai.org)

申し込み方法  
法人HP 申し込みフォームより <http://fuu-rai.org/>  
※申し込みに際し公的証明書での本人確認あり



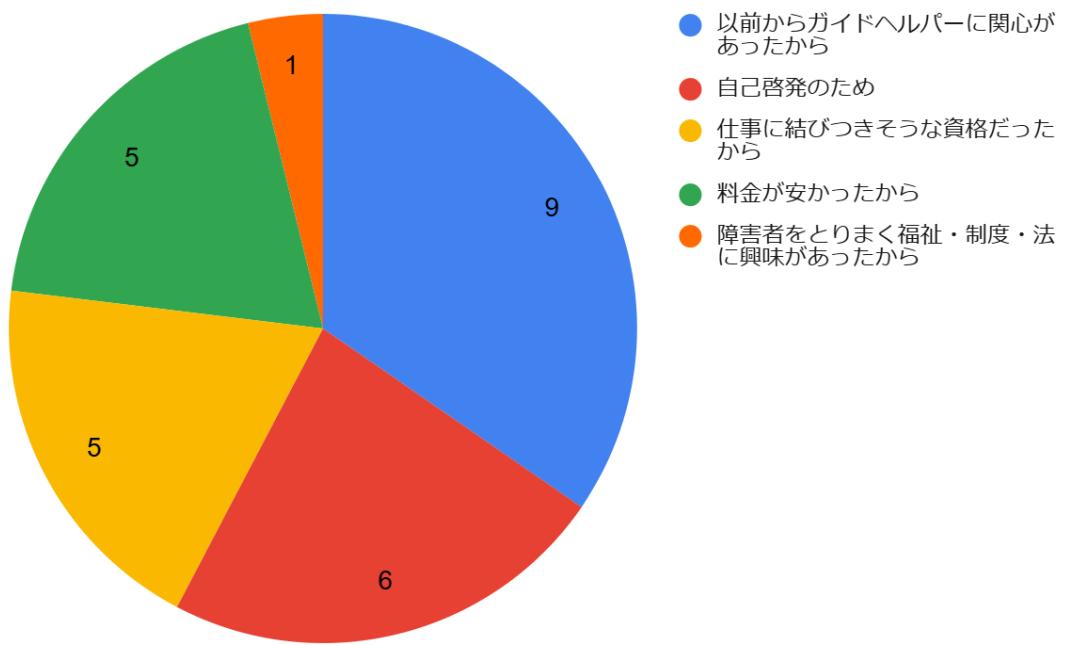
## 7. 主催者 NPO法人風雷社中

8. 協賛 大田区消費者団体「大田ネットワーク」(第1回養成研修のみ)

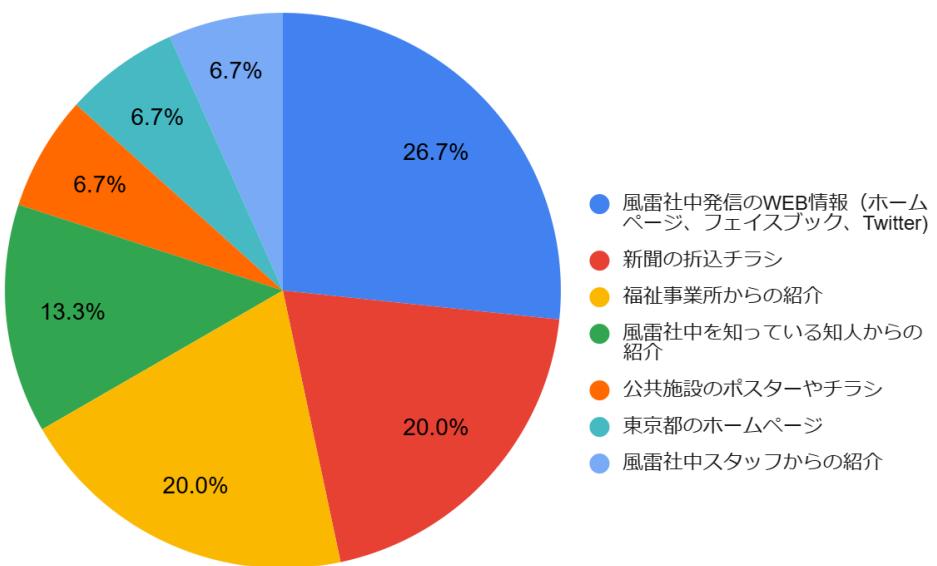
## 9. 研修で使用した教材

『知的障害者本人中心のガイドヘルパーマニュアル』  
(NPO法人コミュニティーサポート研究所)

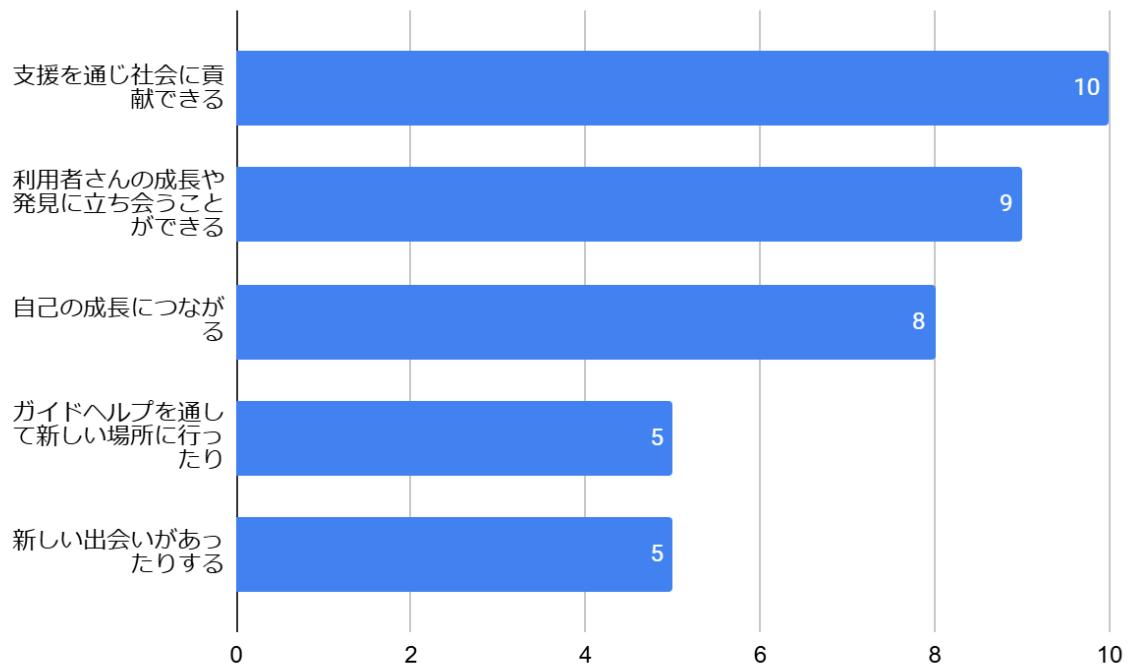
10. 修了者アンケート(第1回・第2回のアンケートを合算)  
a. 研修に参加した動機を教えてください(複数回答可)



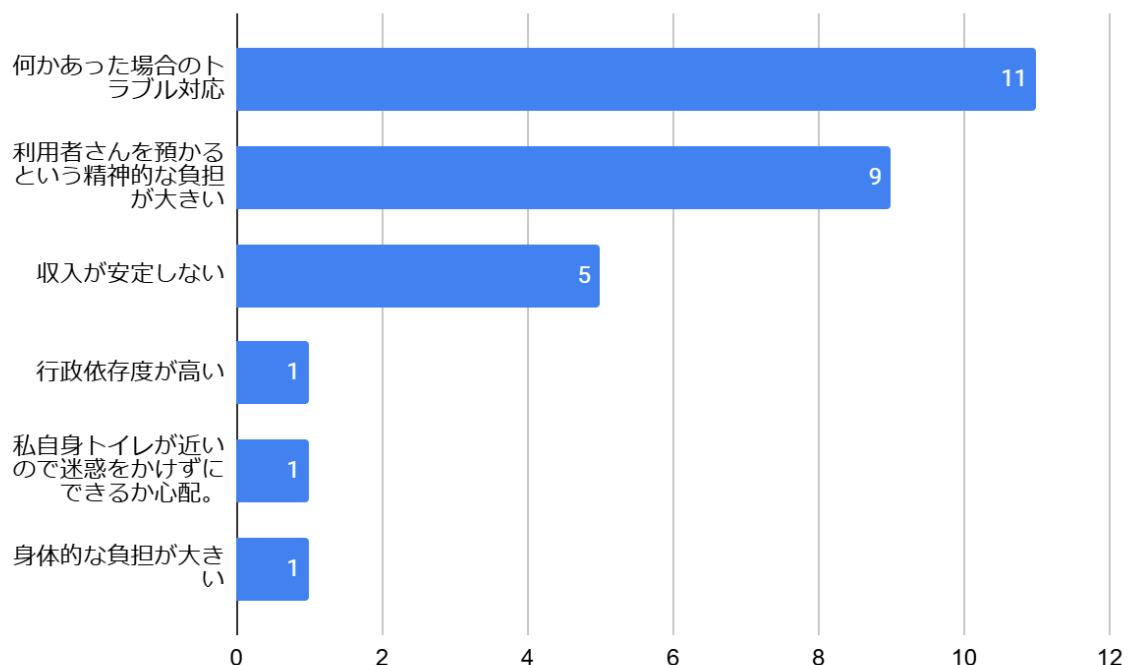
b. 研修を知ったきっかけを教えてください(複数回答)



c. ガイドヘルパーのやりがいは何だと思いますか？(複数回答可)



d. ガイドヘルプを行う上で問題点、不安点は何だと思いますか(複数回答可)



#### e. 研修を受講して一番印象に残ったこと(抜粋)

- この業界の特徴はお国の事情や歴史的背景からの要素が大きいので仕方がないが、そんな中でも草の根的に素々と頑張っている集合体があるという事。
- "講義をしてくださる方どの方も障害を持った人たちを特別に何かしてあげようということではなく当たり前にありのままに受け入れていると感じられました。私自身、何かしてあげたいとか手伝いたいみたいなどこか上から感じがあって反省でした。一緒に考えて一緒に社会を変える手伝いができると思いました。"
- ヘルパーも利用者さんとの外出を楽しんでも良いということ
- 利用者側とヘルパー側に分かれてロールプレイをしたことが、実際の支援をイメージできて印象に残りました。
- 講師の方がそれぞれ、個性的で熱血な方が多く充実していた。発達障害や精神障害を持つ方がいて、それが良かった。特に、ポルケの山田さんの精神障害者の気持ち等の講義が、今ボランティアで精神障害の人と関わる事がアリ、知的障害の方への知識や経験はありました、対応等に戸惑う事多く、参考になりました。
- 講師が素晴らしい
- ガイドヘルパーの仕事は、利用者さん本人が主体性を回復するアプローチのサポートであるという点が、最大の発見でした。自分で切符を買う、どこへ行くかを決める、何を食べるかを決める、コンビニで買い物をする、その一つひとつが主体性を回復するアプローチだと。さらには、ホームヘルパーは家族のためではなく本人のためにあること、その先に一人暮らしの選択もできるようにという一連の流れが、主体性の回復であって、一人の人間としての尊厳の回復であるのだと学びました。
- 高齢者介護も障害者支援も屋内支援がほとんどの中、ガイドヘルパーは屋外の外出支援ということで、利用者さんの豊かな社会的文化生活を保障するとても大切な支援であると同時に、外部の多くの人たちの認識を変え深める社会との橋渡し的な支援ということが印象的でした。

#### 11. 研修の評価

現役大学生から定年退職後のセカンドキャリアを考えている方まで、幅広い年齢の方々が受講してくれました。グループワークでは、さまざまな立場の方が意見を出し合うことにより、更に考えが深まっていく様子が見られました。

修了された方の中で、風雷社中や他の事業所でガイドヘルパーとして新しく働き始めた方がいます。

それだけでなく、知的障害のある人のグループホームや通所施設等で元々働いている方も多く受講しています。資格が必須ではない職種であっても知的障害当事者と関わる上で、勉強したいという方が多くいることを実感しています。ガイドヘルパー研修は金銭的・時間的なハードルが低い研修でありながら、初心者向けの内容なので、そういった需要を感じます。

また、以前風雷社中の研修を修了された方の紹介など、内容を知ってくれている方が「風雷社中のガイドヘルパー養成研修」を周囲に勧めてくれているという状況があります。期待に応えられるよう、より良い研修を作り上げていきます。

#### 12. 次の研修にむけて

より効果的な講義にするために、講師同士の連携を強めて行きます。

さまざまな立場の講師を集めている関係で、講師同士が連絡を密に取り合うということは難しいですが、事務局がハブとなって講義の内容の共有など、講師が研修全体を把握しながら講義に臨めるように工夫していきます。

### 13. 今後の研修実施

2024年度に研修の参加に都合がつかなかった方から、既に次年度の開催について問い合わせをもらっています。

今年度も、以前から問い合わせをもらっていた方が修了することができて、継続的に研修を実施する意義を感じています。

また、毎年4月は生活が変わる時期なので、進学で新しく移動支援が必要になる方やヘルパーさんの状況が変わって今まで通り支援が受けられなくなる方など、事業所への新規利用の問い合わせが特に増えます。

現在利用されている方の支援提供でヘルパーさんが出払っていることが多く、お断りのお返事をせざるを得ないため心苦しいです。

現状を少しずつでも改善していくため、2025年度もガイドヘルパー養成研修を実施できるように、計画をしています。

そして、修了された方が更にガイドヘルパーに関心を持ち、仕事や生活の中で活かしてもらえるような、より良い研修にするために試行錯誤を続けていきます。

#### 14. 研修の様子



